

# What?



## 江戸東京野菜プロジェクトとは？

先輩たちが「課題研究」で扱ったことから、園芸高校での栽培が始まった「江戸東京野菜」。江戸東京・伝統野菜研究会代表の大竹道茂さんによる講演「次世代につなげたい～今話題の江戸東京野菜」もきっかけとなり、「江戸東京野菜」に興味を持った生徒たちがいました。彼らは個性的で味が濃く、本来の野菜の香りを楽しめる伝統野菜のおいしさに強く感動したのだそうです。

「こんなにおいしい野菜を消したくない。地域の農業を活性化させるきっかけにしたい。」という思いから、園芸高校の特色の一つとすべく平成23年4月に立ち上げたプロジェクトです。

### 江戸東京野菜って？

江戸東京・伝統野菜研究会代表の大竹道茂さんによると、

- ・季節限定で“旬”がある伝統野菜
- ・東京または近郊で栽培されて来た固定種
- ・江戸から昭和の各時代に市民の食生活を支え、食文化を育んで来た野菜

と定義付けがされているそうです。

### 活動の内容は？

地域普及と品種の固定化を目標に、おすすめレシピを紹介した販売や、栽培農家での研修、よい品種を育てて種を譲渡するなど精力的に活動しています。機会ある毎に活動の様子を発表し、ホームページでも情報発信したことにより、地域の人々との交流も増え、何度も購入して下さる方もできました。その他、東京プリンスホテルのレストランが、園芸高校の栽培した江戸東京野菜を使ったメニューを提供するなど、活動の幅も広がっています。



### メンバーの声[VOICE]

少人数で広い畑を管理したり、害虫、病気、自然災害など苦労も多いけど、農家の方の“野菜は無口だけど、かわいくなってやればちゃんと応えてくれる”という言葉に胸に、細かい作業をしっかりやることを大切にしています。

江戸東京野菜は、大きさや形が不ぞろいなため販売しにくく、生産農家が減ってきているという現状があるので、生産農家を増やすべく新たな伝統野菜を開拓したい。

よい野菜ができればその種を育て、品質や収穫量を安定させることにも挑戦していますが、年数がかかることなので、後輩や地域の人、他校の生徒達にも協力してもらいたい。